

令和元年度事業報告（抜粋）

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

I 概況

南越法人会（以下「本会」という。）は、昭和35年6月の創立以来、税のオピニオンリーダーとして税制はもとより、政治・経済に的確に対応しながら地域の振興及び企業の発展に尽力し、特に本事業年度は平成時代の締めくくりに対応しい活動へと精進してきた。本会の活動においては、会員が徐々に減少している中であって厳しさを増しているところですが、会員企業をはじめ、税務及び教育の各関係機関並びに諸団体から格別の御指導・御支援をいただき、一定の成果を上げてきました。

事業の遂行に当たっては、隣接する国々との関係の変化、多発する大規模な自然災害及び深刻な人手不足など、産業界を取り巻く環境が目まぐるしく変化しており、特に危機管理の重要性に配慮してきた。とりわけ、年度途中から発生した新型コロナウイルス感染症は、今年3月以降から世界的な感染拡大を呈し、個々の国家や企業のみでは対応できない異次元の事態が生じ、本会においても一部の事業を中止したところである。この危機的状況に対しては、感染拡大の防止と併せて財政の果たす役割が極めて重要となることから、今後、本会の事業活動においてもこれまで以上に地域企業及び会員等の現状と課題の把握に努め、適時・適切な事業活動を展開していく所存である。

II 事業報告

1 適正な申告・納税を普及、推進する事業（公益事業1）

(1) 税知識の普及・推進事業：研修委員会（研修会等の講師は税務署職員）

- 決算期別申告講習会（4回）
- 新設法人説明会（2回）
- 年末調整説明会（2回）
- 税務研修会（1回）
- 税関係図書の配付

(2) 納税意識の高揚事業：厚生委員会、広報委員会、研修委員会、青年部会、女性部会

- 租税教室（対象小学6年生）：4校実施（宮崎小、北日野小、北新庄小、片上小 計123名）
講師は青年部会役員とし、終了後にアンケートを実施（117名回答）
- 税に関する絵はがきコンクール（対象小学6年生）：30校から1,341点応募
主催：本会、全法連 主管：本会女性部会
協賛：武生商工会議所、鯖江商工会議所
後援：国税庁、教育委員会、租税教育推進協議会、福井新聞、丹南ケーブルテレビ
募集・審査：女性部会が全小学校に赴いて募集し、審査は2回実施（審査員に洋画家）
表彰内容：最優秀賞1点、優秀賞15点、佳作40点、入選120点、学校賞8校
表彰式：3月1日（日）の予定だったが中止とした（直接学校へ持参）。
副賞：優秀作品・・・図書券・マーカー・ノートなど
学校賞・・・学校名入りサッカーボール各2個（収納袋付き）
参加賞・・・鉛筆・消しゴム・クリアファイル

○税のキャンペーン

- ・事業所対抗ボウリング大会【会場：アルプラザボウル】（96名参加）
- ・映画上映会兼確定申告早期提出キャンペーン【会場：鯖江アレックスシネマ】（267名参加）
- ・e-Tax確定申告書送信会【会場：朝シャルマン】（31名参加）

(3) 税に関する情報発信事業：広報委員会

- ・広報誌「NET」の発行（年4回：1月20日、4月20日、7月20日、10月20日）
- ・ホームページによる広報
- ・南越税務連絡協議会機関紙「税を考える広場」による広報（年1回：2月1日全戸配付）
- ・広告塔による納税意識高揚（鯖江市南公園グラウンド）
- ・大蔵財務協会発行「税のしるべ」に記事提供

報告事項 1 令和元年度事業報告

(4) 税制・税務に関する調査研究並びに提言事業：税制委員会

- ・税制改正提言取りまとめ活動（アンケートの実施・・・43名分、具体的提言9件）
- ・税制改正提言活動（税を考える週間期間中を中心に、国会議員、市町の首長等へ手交）

2 地域企業と地域社会の健全な発展目的事業（公益事業2）

(1) 地域企業の発展及び地域社会への貢献事業：総務委員会、研修委員会、青年部会、女性部会

- ・セミナー、講演会等の開催（14回）・・・主な講師と演題（ゴシック体が本会主催分）
 - 奥田瑛二氏（映画監督・俳優）「わが映画人生」
 - 山口真由氏（弁護士・元財務省官僚）「一人一人の選択 働き方改革」
 - 堀 大輔氏（学芸員）「継体天皇と秦澄和尚～福井が生んだ偉人を知ろう～」
 - 新山直広氏（デザイナー/ライター）「デザインの役割について」
 - 万久弘子氏（ファッションプランナー）「令和元年 将来のライフプランを考えてみませんか？」
 - 浦上大輔氏（日本ベトナム普及協会専務理事）「たった1分で社員をやる気にさせる話術」
 - アン・ミカ氏（ファッションモデル）「ポジティブ志向～健康な心と体で未来を動かす～」
 - 井手英策氏（慶應義塾大学教授）「幸福の増税論～今日より素晴らしい明日をつくる～」
 - 河井安子氏（社労士）「働き方改革～労基署調査から健康管理まで、今後のトレンドを学ぶ～」
 - 吉村健佑氏（千葉大学教授）「次の世代に社会を引き継ぐために～健康経営の始め方と進め方～」
 - 佐藤奈緒美氏（女優・法人会広報大使）「租税教育活動で得られた“大切なこと”」
 - 西島統括官（武生税務署）「消費税軽減税率とインボイスについて～最終チェック～」
- なお、3月の理事会終了後に予定していた伊本貴士氏の講演会は中止とした。

(2) 社会貢献事業：女性部会

- ・使用済切手回収運動 約1.5キロをJOCSに寄付

3 共益事業

(1) 会員のための福利厚生事業：厚生委員会

- 健康管理事業（人間ドックPETコース5%割引利用紹介）
 - ・済生会病院利用 19名（前年16名）
 - ・福井大学附属病院利用 0名（前年4名）
- 各福利厚生制度の加入促進（保険協力3社）
 - ・大同生命保険㈱、AIG損害保険㈱、アフラック

(2) 会員増強事業：組織委員会

- ・会員増強運動（強化月間10月～12月）
 - 旧武生・南条地区、鯖江地区、旧今立・池田地区、丹生地区の4地区に分けて展開
- ・会員の状況

会員数 (31.3月末)	入会数	退会等数	会員数 (令和2年3月末)	加入率
(外賛助8人) 2,244社	(外賛助2人) 5社	(外賛助2人) 58社	(外賛助8人) 2,191社	63.1%

(参考) 2年3月末現在：青年部会員38名、女性部会員66名

4 その他会議の開催状況

- ・親会、各委員会、部会等の会議開催（18回）
- ・全法連、北法連及び県法連等主催の会議へ出席
- ・その他関連団体主催会議等への出席

5 参考（福井県法人会連合会の地域貢献事業）

- ・「令和元年度ひよこ手帳キャンペーン」特別協賛
- ・「法人カップ2019U-12 福井県少年サッカー大会」特別協賛
- ・「わんぱく駅伝」・「中学駅伝」特別協賛
- ・「キッズ防犯ブザープレゼントキャンペーン」協賛